

都民生活に関する世論調査〈概要〉

令和7年1月

調査実施の概要

1 調査目的

都民の日常生活に関わる意識や、東京に対する意識を捉えるとともに、都政に対する都民の意識や意見・要望を把握し、今後の都政運営の参考とする。

また、今回は附帯テーマとして、食生活と食育をめぐる都民の意識、学校・地域の取組や行政への要望等を調査した。

2 調査項目

- (1) 暮らし
- (2) 住んでいる地域
- (3) 東京
- (4) 都政への要望
- (5) 食生活と食育
- (6) 学校、地域での食育
- (7) 行政への要望

3 調査設計

- (1) 調査対象：東京都全域に住む満18歳以上の男女個人
- (2) 標本数：4,000標本〔令和元年までは3,000標本〕
- (3) 標本抽出方法：住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法
- (4) 調査方法：郵送法（郵送配布・郵送回収、WEB〔インターネット〕回答併用）
〔令和元年までは個別訪問面接聴取法〕
- (5) 調査期間：令和6年8月20日～9月16日
- (6) 調査実施機関：一般社団法人中央調査社

4 回収結果

- (1) 有効回収標本数（率）：1,994標本（49.9%）〔うち郵送1,223標本、インターネット771標本〕
- (2) 未完了標本数（率）：2,006標本（50.2%）

調査結果の概要

※nは質問に対する回答者数で、比率算出の基数を示す。

※個々の比率の合計は、全体の計に一致しないことがある。

※M. A. はいくつでも選択、5M. A. は5つ選択、3M. A. は3つ選択

※M. T. は回答の合計をnで割った比率に100を乗じた数

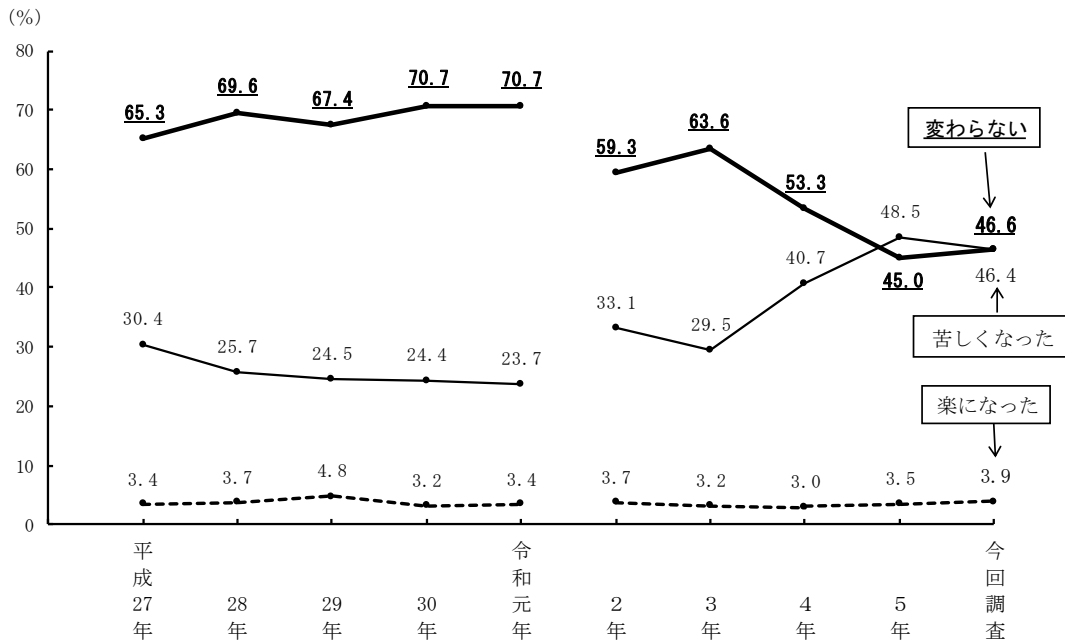
※令和元年までの調査方法は、調査員による個別訪問面接聴取法であったが、令和2年から郵送法（インターネット回答併用）で実施したため、元年以前と単純に比較することはできないので留意が必要

1 暮らし

(1) 暮らしむきの変化：暮らしは、昨年の今ごろと比べて楽になったか、苦しくなったかを聞いた。

(本文P3～P8)

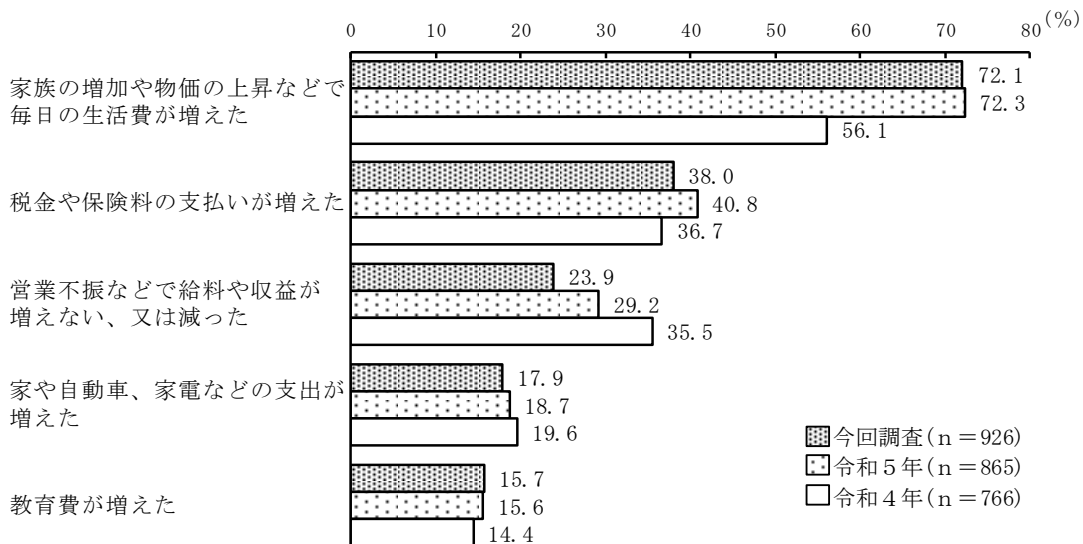
- ・「変わらない」は47%（昨年より2ポイント増加）
- ・「苦しくなった」は46%（昨年より2ポイント減少）



[暮らしむきが苦しくなった理由]：「苦しくなった」と答えた人（926人）に、その理由を聞いた。

(M. A.) (上位5位)

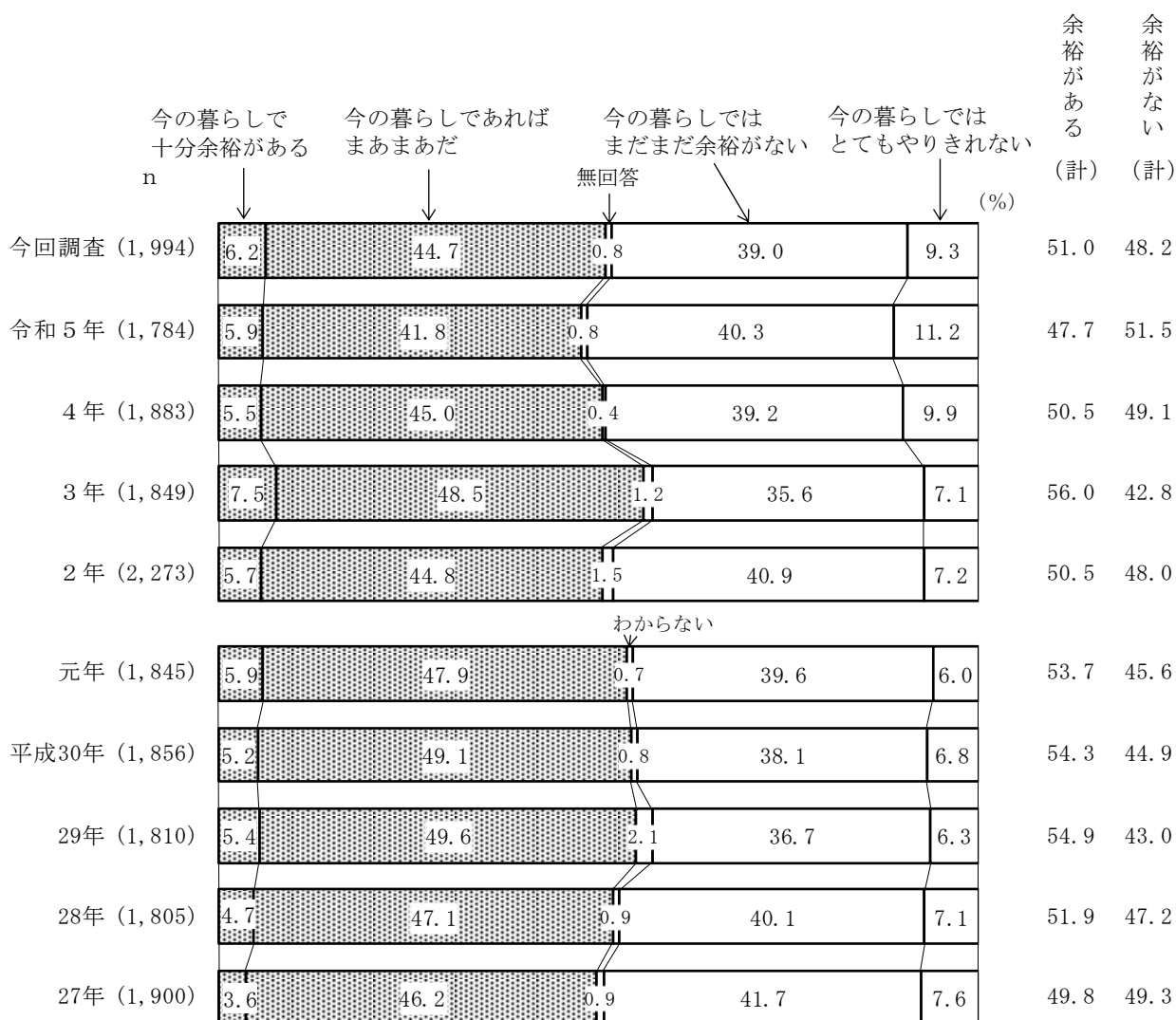
- ・「家族の増加や物価の上昇などで毎日の生活費が増えた」が72%でトップ（昨年とほぼ同ポイント）



(2) 暮らしの余裕：暮らしの余裕について聞いた。

(本文P9～P13)

- ・『余裕がある (計)』は51% (昨年より3ポイント増加)
- ・『余裕がない (計)』は48% (昨年より3ポイント減少)

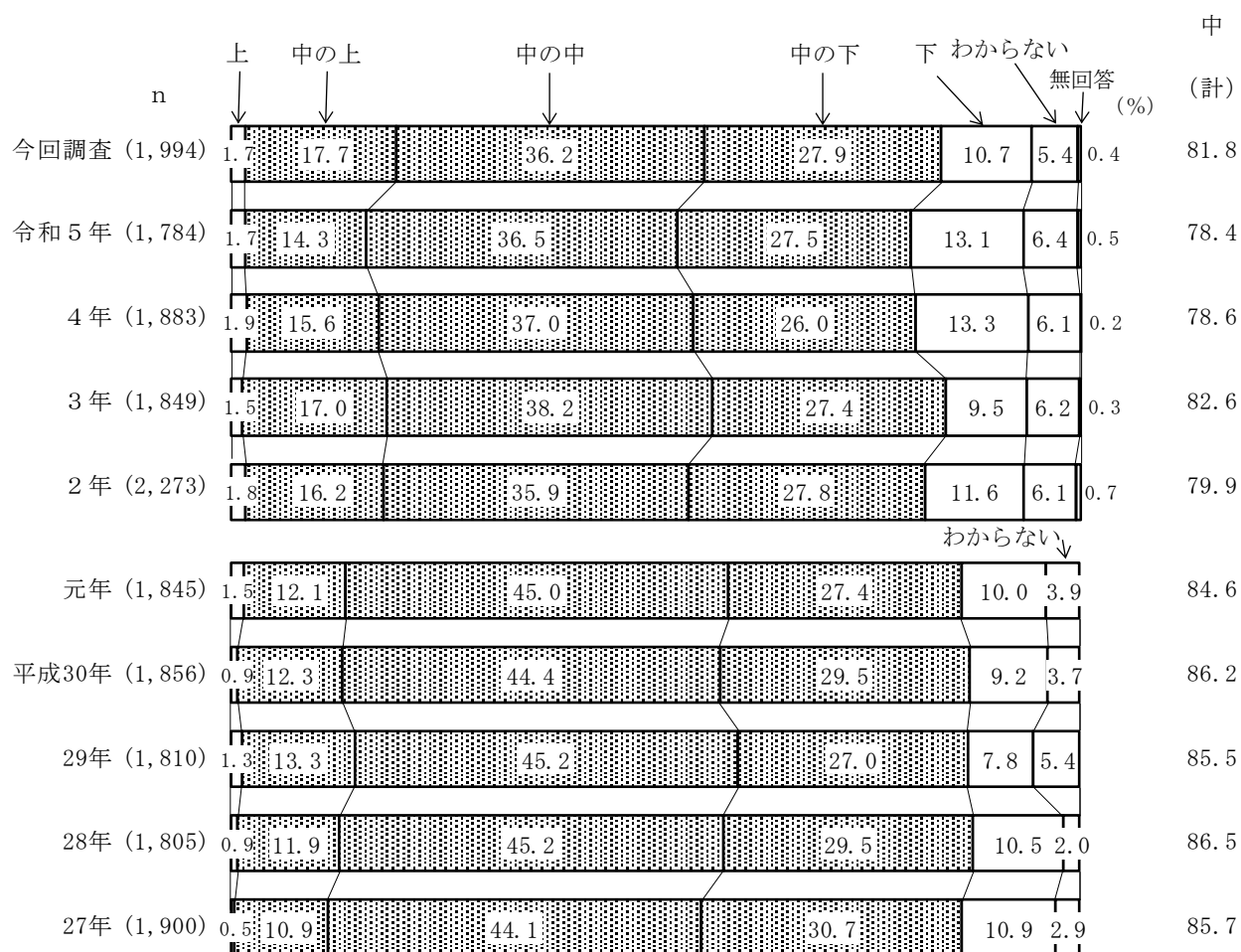


(注) 『余裕がある (計)』は「今の暮らしで十分余裕がある」「今の暮らしであればまあまあだ」の合計
 『余裕がない (計)』は「今の暮らしではとてもやりきれない」「今の暮らしではまだまだ余裕がない」の合計

(3) 生活程度：5段階に分けた生活程度がどれにあたると思うか聞いた。

(本文P14～P17)

- ・『中（計）』は82%（昨年より3ポイント増加）
- ・「下」は11%

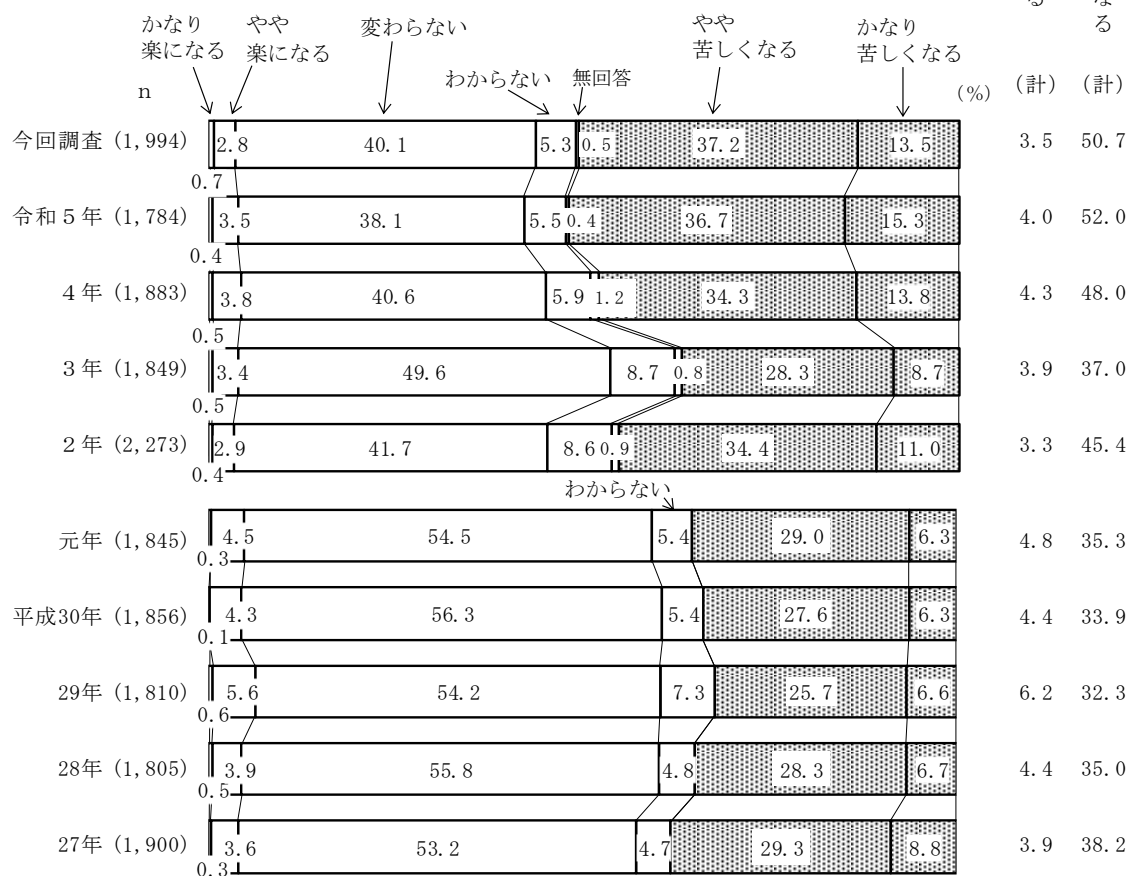


(注)『中（計）』は「中の上」「中の中」「中の下」の合計

(4) これからの暮らしむき：これから1年間の暮らしむきを聞いた。

(本文P18～P22)

- ・『苦しくなる（計）』は51%（昨年より1ポイント減少）
- ・『変わらない』は40%（昨年より2ポイント増加）

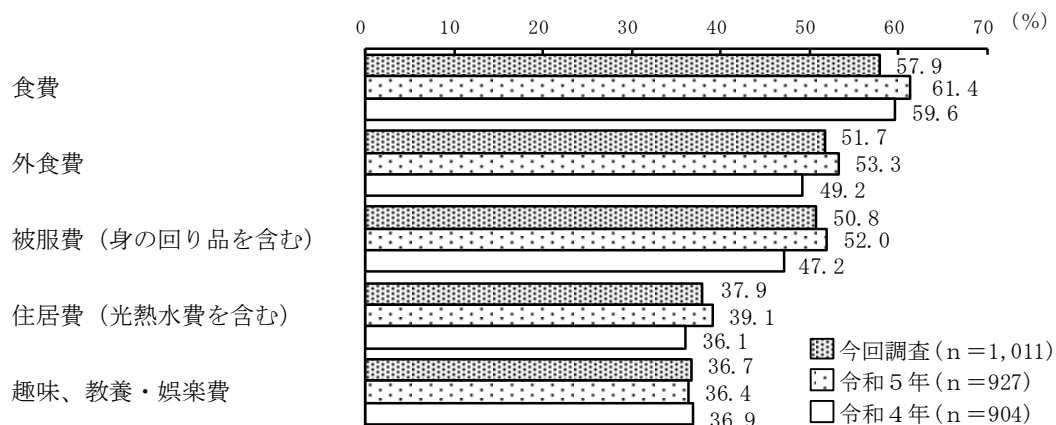


(注) 『楽になる（計）』は「かなり楽になる」「やや楽になる」の合計
 『苦しくなる（計）』は「かなり苦しくなる」「やや苦しくなる」の合計

(5) 今後切りつけていくもの：これから1年間の暮らしむきが、「やや苦しくなる」「かなり苦しくなる」と答えた人（1,011人）に、今後切りつけていこうと思うものについて聞いた。（M. A.）（上位5位）

(本文P23～P25)

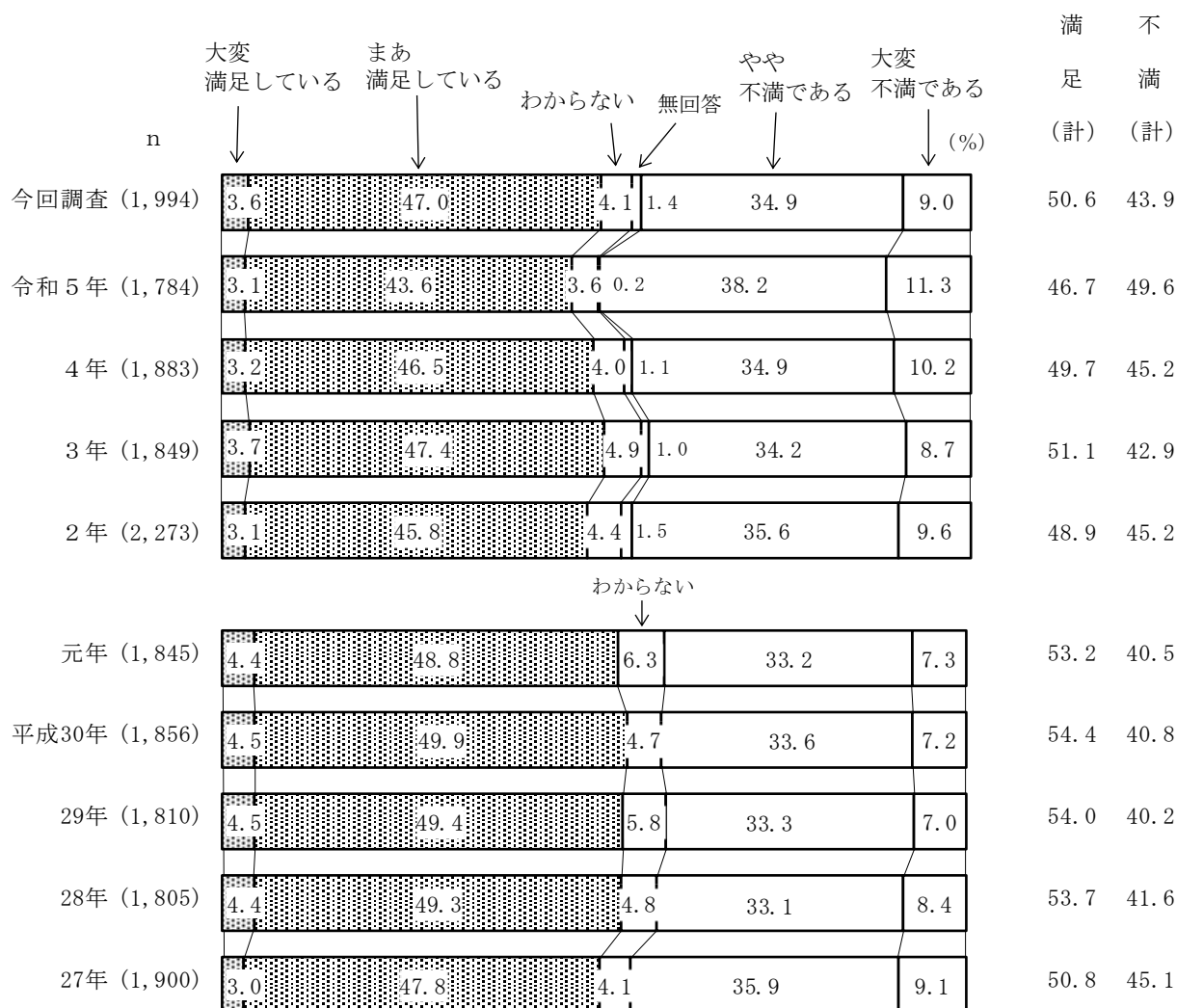
- ・「食費」が58%でトップ（昨年より4ポイント減少）
- ・「外食費」52%、「被服費（身の回り品を含む）」51%が続く



(6) 生活満足度：現在の生活に満足しているかどうか聞いた。

(本文P26～P29)

- ・『満足（計）』は51%（昨年より4ポイント増加）
- ・『不満（計）』は44%（昨年より6ポイント減少）

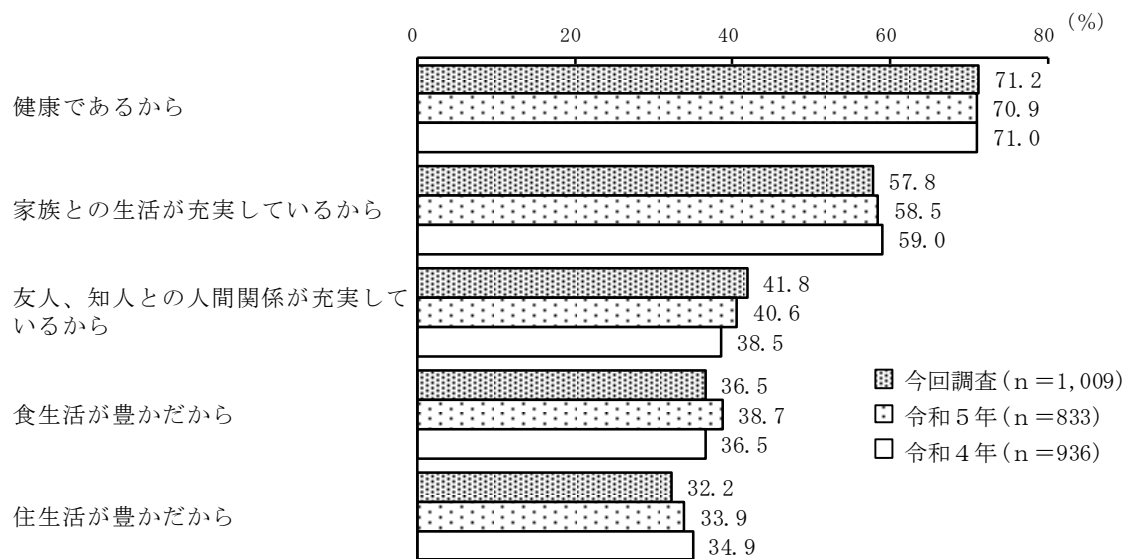


(注) 『満足（計）』は「大変満足している」「まあ満足している」の合計
 『不満（計）』は「大変不満である」「やや不満である」の合計

(7) 満足の理由：現在の生活に「大変満足している」「まあ満足している」と答えた人（1,009人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 30～P 32）

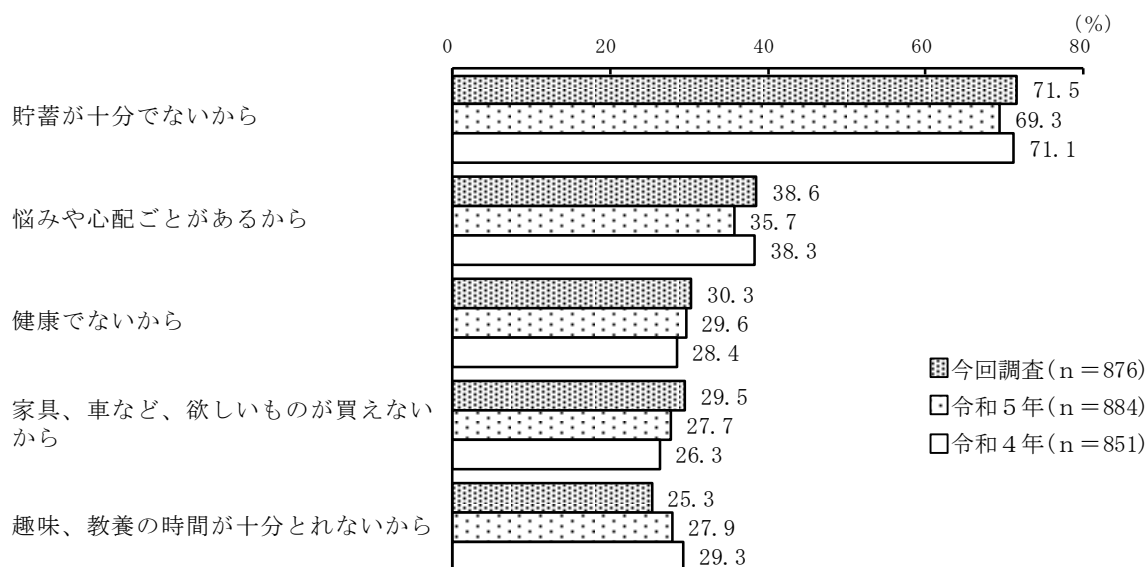
- ・「健康であるから」が71%でトップ
- ・「家族との生活が充実しているから」58%、「友人、知人との人間関係が充実しているから」42%が続く



(8) 不満の理由：現在の生活に「やや不満である」「大変不満である」と答えた人（876人）に、その理由を聞いた。（M. A.）（上位5位）

（本文 P 33～P 35）

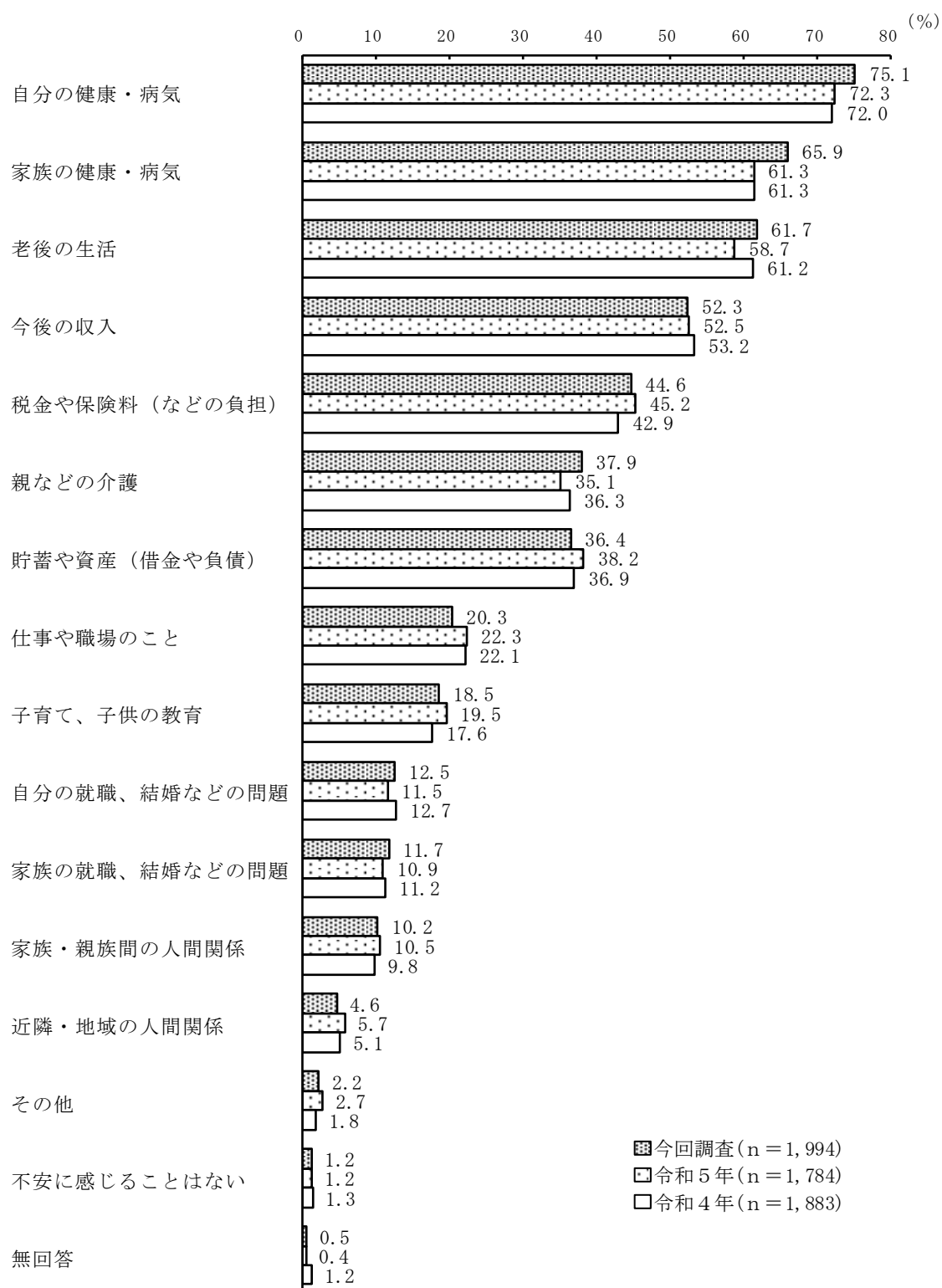
- ・「貯蓄が十分でないから」が72%でトップ
- ・「悩みや心配ごとがあるから」39%、「健康でないから」30%が続く



(9) 今後の生活の不安：今後の生活で不安を感じることを聞いた。(M. A.)

(本文 P 36～ P 39)

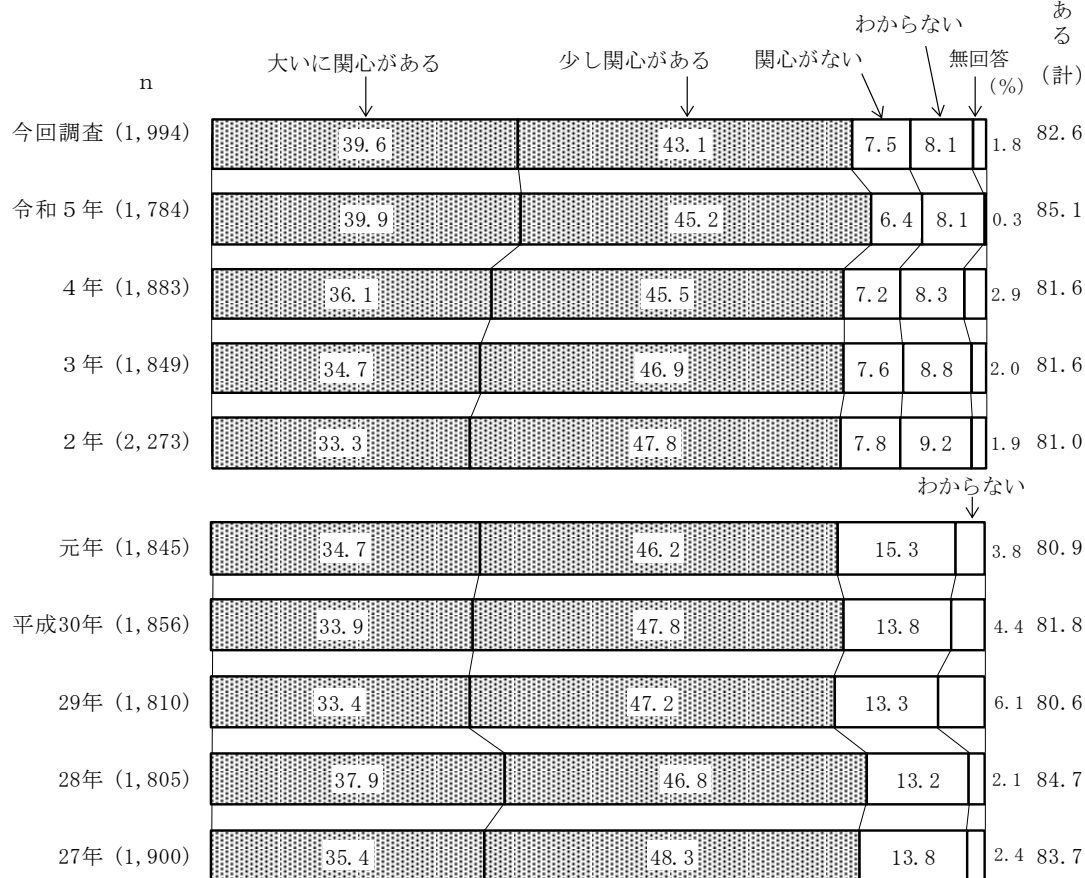
- ・「自分の健康・病気」が75%でトップ
- ・「家族の健康・病気」66%、「老後の生活」62%、「今後の収入」52%が続く



(10) 税金への関心度とその内容：税金について関心があるかどうか聞いた。

(本文 P 40～ P 45)

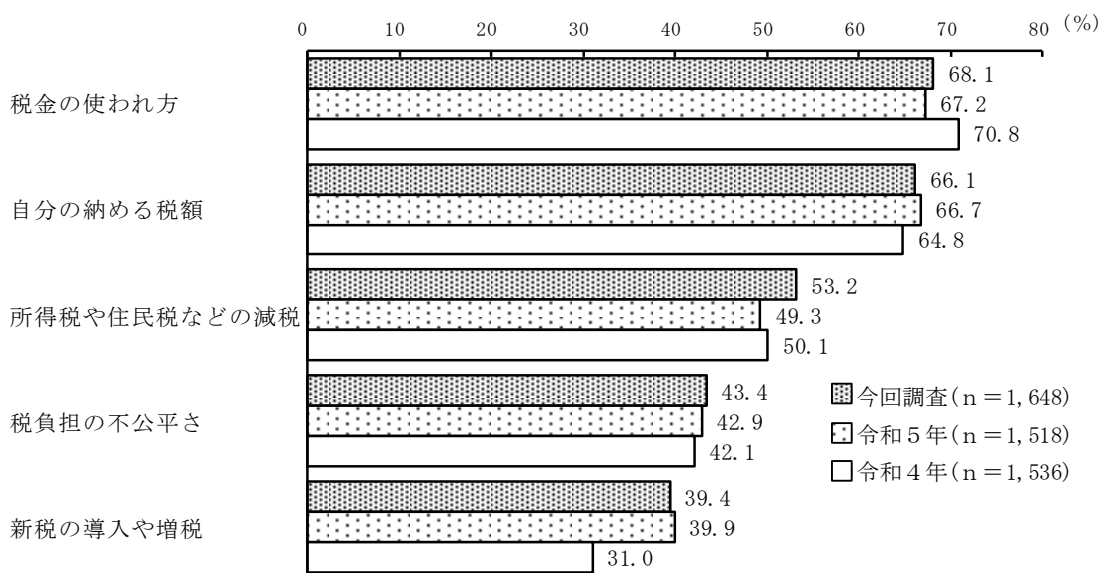
- ・『関心がある (計)』は83%
- ・「関心がない」は8%



(注)『関心がある (計)』は「大に関心がある」「少し関心がある」の合計

[税金への関心の内容]：「大に関心がある」「少し関心がある」と答えた人 (1,648人) に、その内容を聞いた。(M. A.) (上位5位)

- ・「税金の使われ方」が68%でトップ
- ・「自分の納める税額」66%、「所得税や住民税などの減税」53%が続く

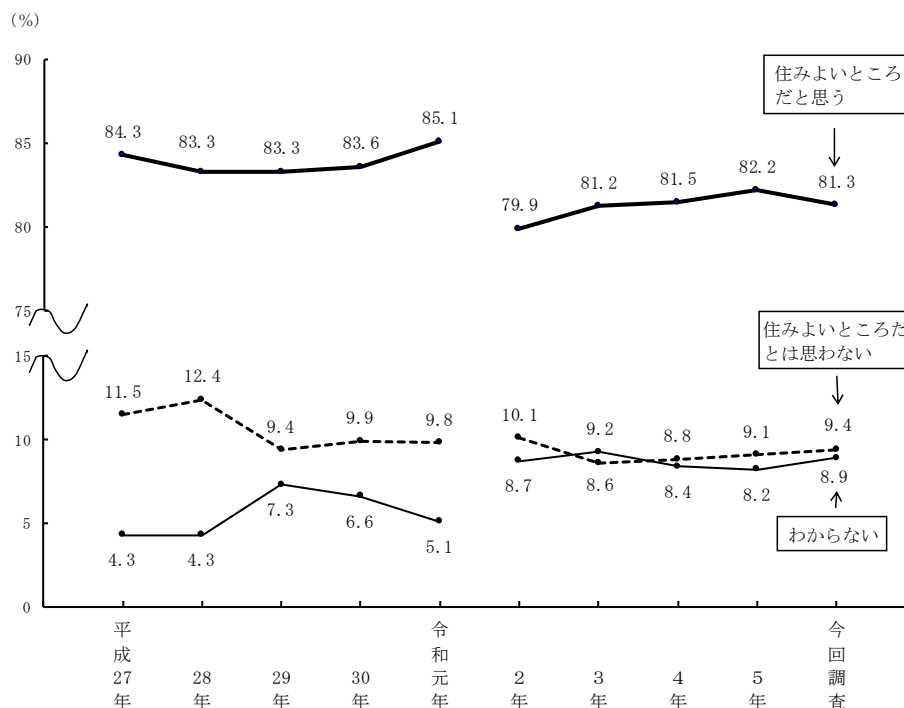


2 住んでいる地域

(1) 地域の住みよさ：今住んでいるところが住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P46～P49)

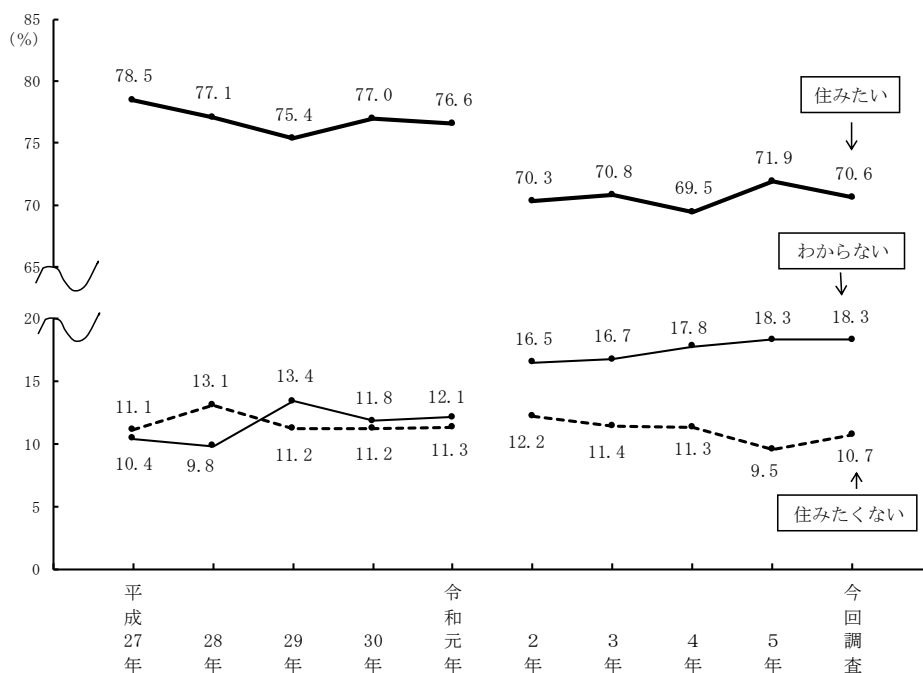
- ・「住みよいところだと思う」は81%
- ・「住みよいところだとは思わない」は9%



(2) 地域定住意向：今住んでいる地域に今後も住みたいと思うか聞いた。

(本文 P50～P59)

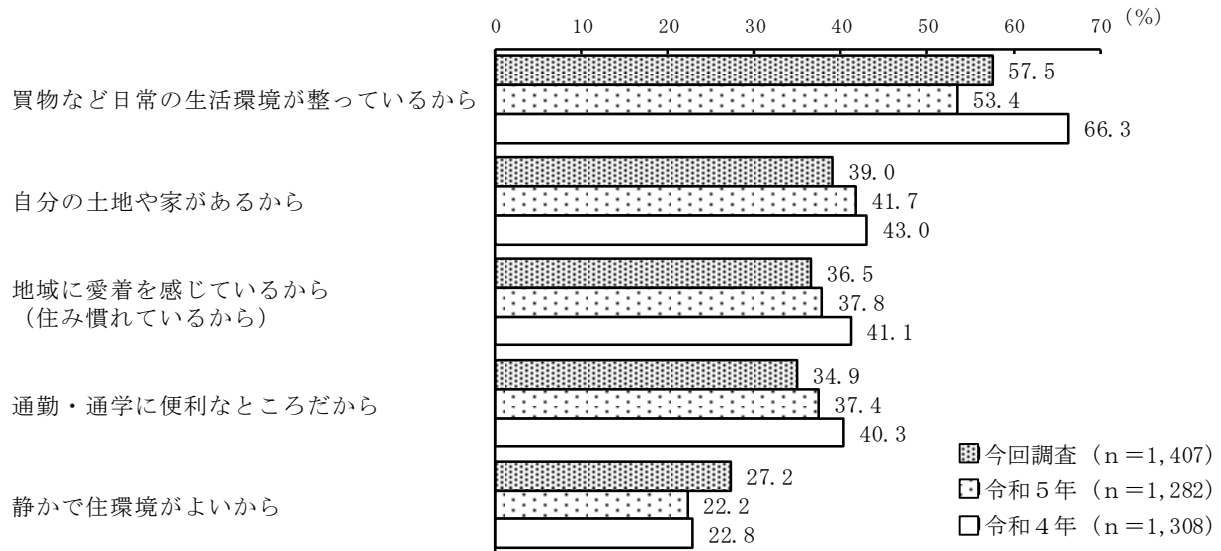
- ・「住みたい」は71%
- ・「住みたくない」は11%



[居住地域に住みたい理由]：「住みたい」と答えた人（1,407）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

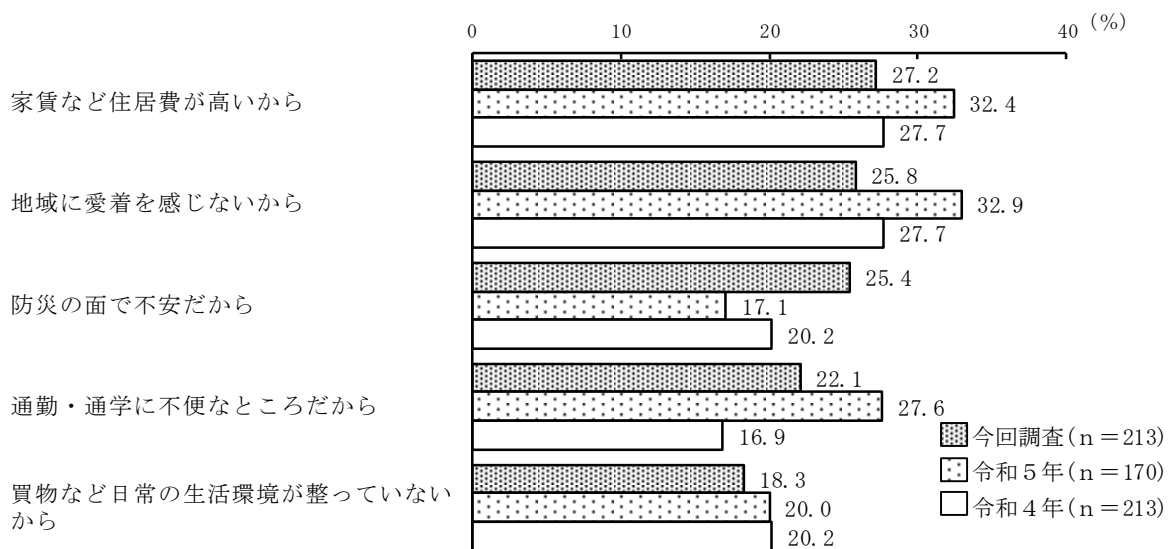
- ・「買物など日常の生活環境が整っているから」が58%でトップ
- ・「自分の土地や家があるから」39%、「地域に愛着を感じているから（住み慣れているから）」37%が続く



[居住地域に住みたくない理由]：「住みたくない」と答えた人（213人）に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

- ・「家賃など住居費が高いから」が27%でトップ（昨年より5ポイント減少）
- ・「地域に愛着を感じないから」26%、「防災の面で不安だから」25%が続く

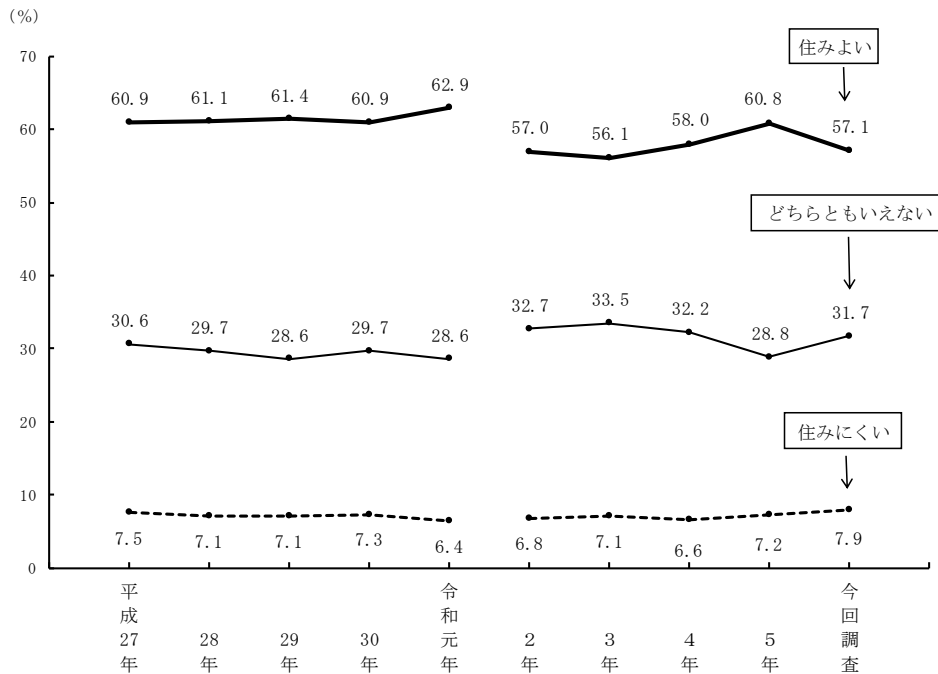


3 東京

(1) 東京の住みよさ：東京は全般的にみて住みよいところだと思うか聞いた。

(本文 P60～P65)

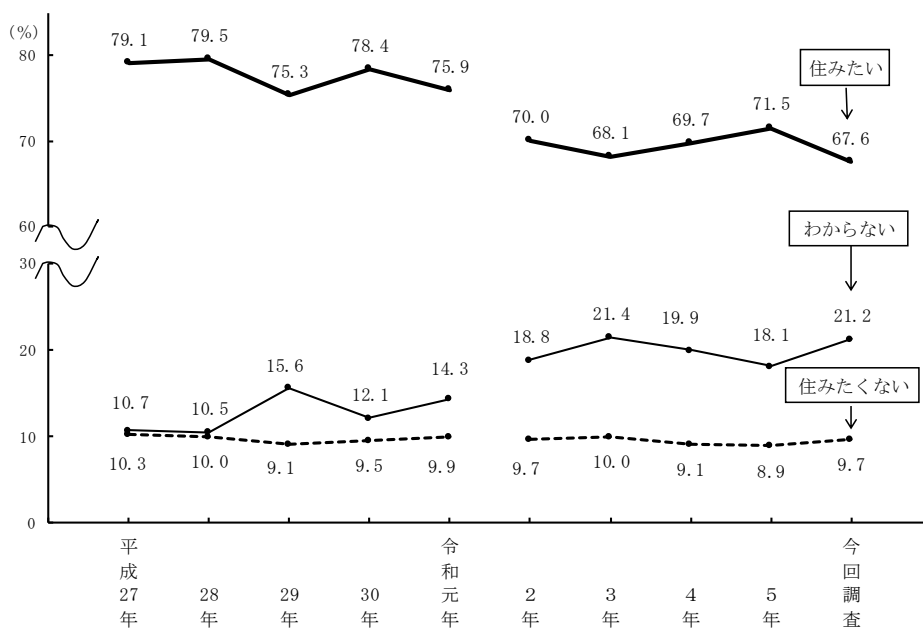
- ・「住みよい」は57%
- ・「住みにくい」は8%



(2) 東京定住意向：東京に今後もずっと住みたいと思うか聞いた。

(本文 P66～P78)

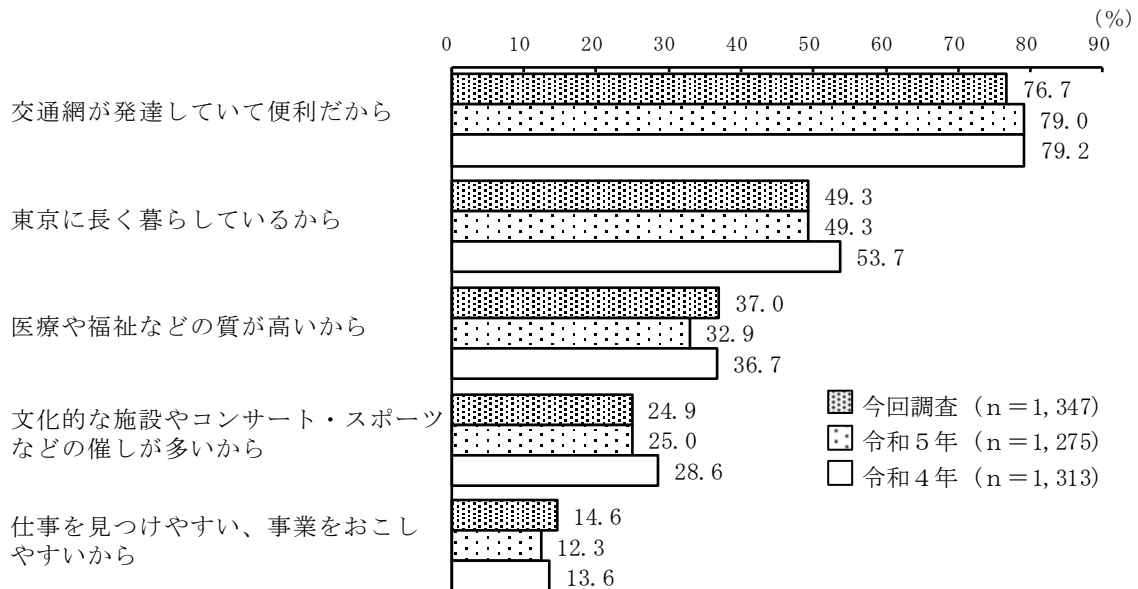
- ・「住みたい」は68% (昨年より4ポイント減少)
- ・「住みたくない」は10%



[東京に住みたい理由] : 「住みたい」と答えた人 (1,347人) に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

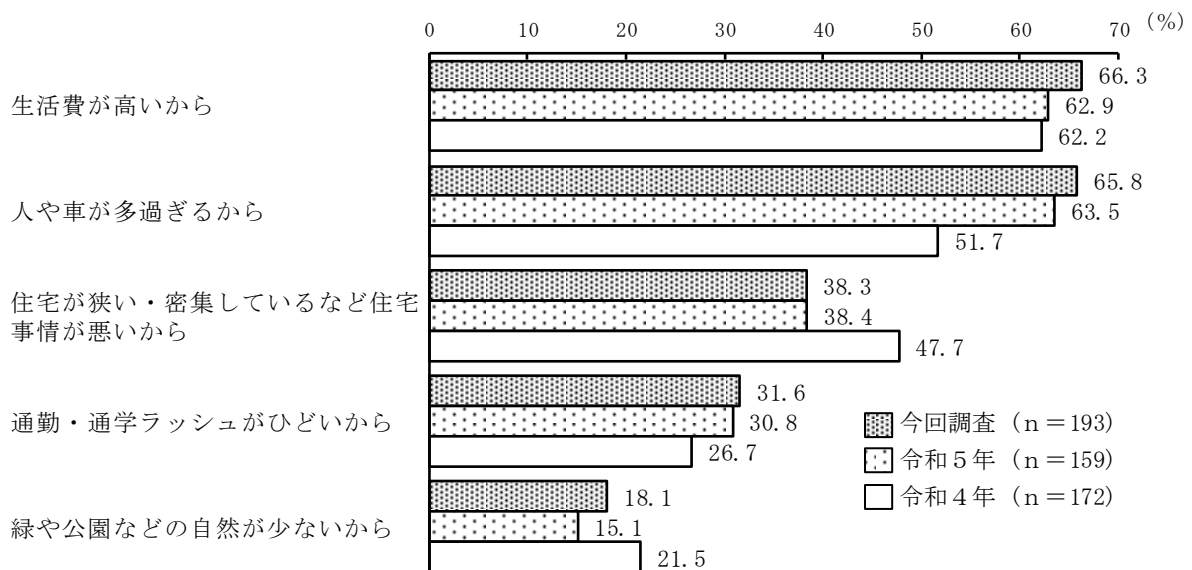
- ・「交通網が発達していて便利だから」が77%でトップ
- ・「東京に長く暮らしているから」49%、「医療や福祉などの質が高いから」37%が続く



[東京に住みたくない理由] : 「住みたくない」と答えた人 (193人) に、その理由を聞いた。

(3M. A.) (上位5位)

- ・「生活費が高いから」と「人や車が多過ぎるから」が66%でトップ
- ・「住宅が狭い・密集しているなど住宅事情が悪いから」38%、「通勤・通学ラッシュがひどいから」32%が続く

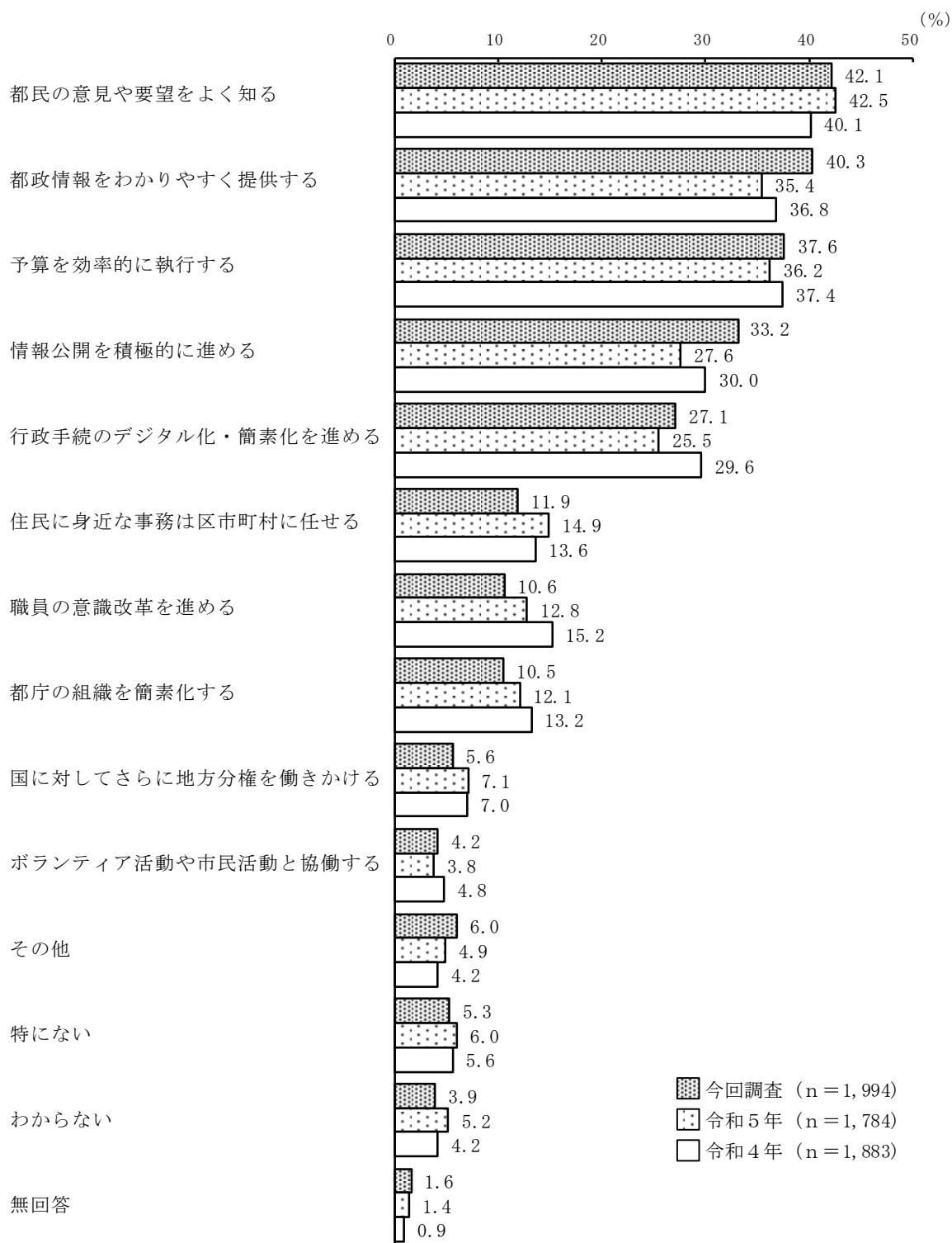


4 都政への要望

(1) これからの都政の進め方：これからの都政の進め方に対して、特に望むことを聞いた。

(3M. A.) (本文P79～P81)

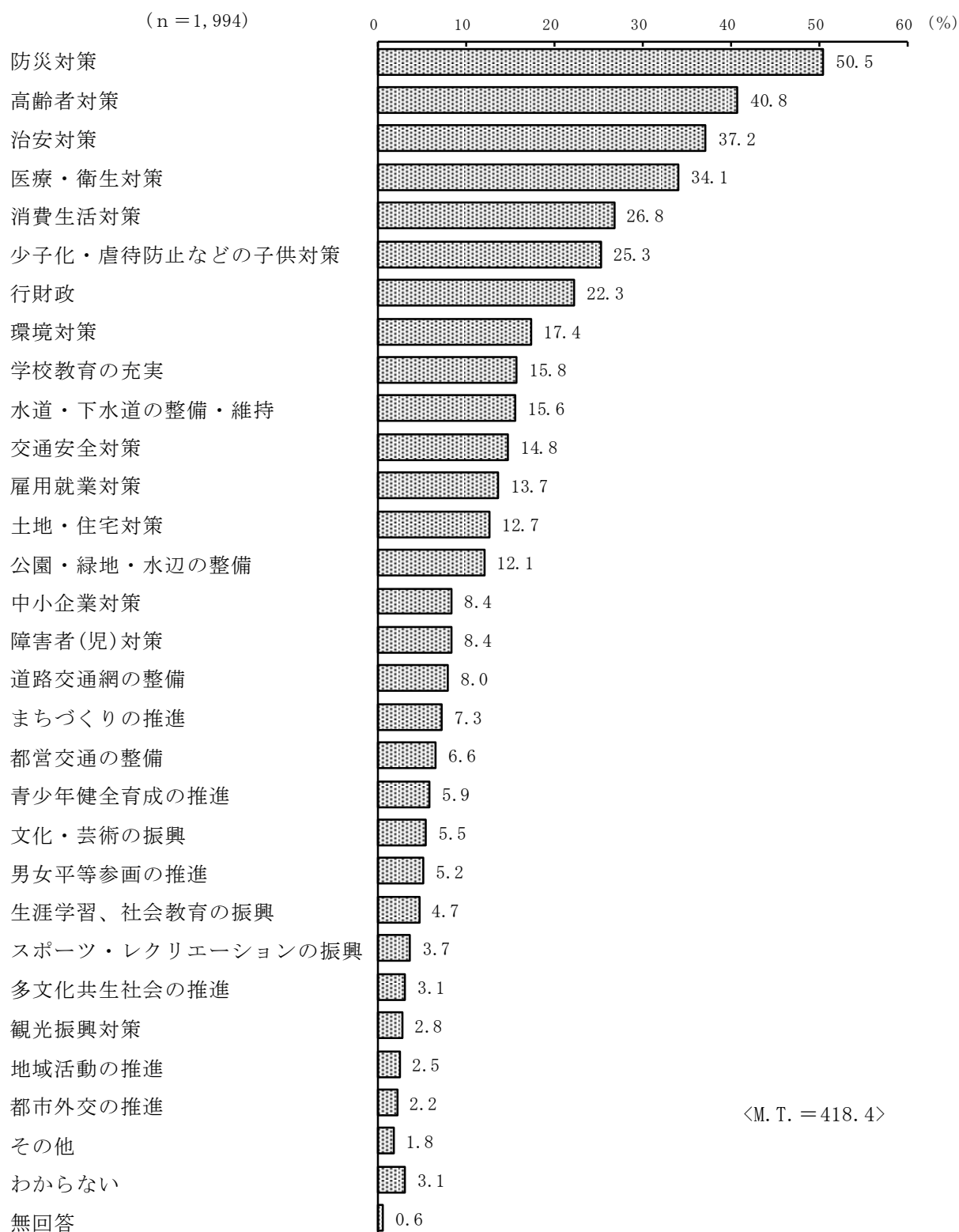
- ・「都民の意見や要望をよく知る」が42%でトップ
- ・「都政情報をわかりやすく提供する」40%、「予算を効率的に執行する」38%、「情報公開を積極的に進める」33%が続く



(2) 都政への要望：東京都に対して特に力を入れてほしい施策を聞いた。(5M. A.)

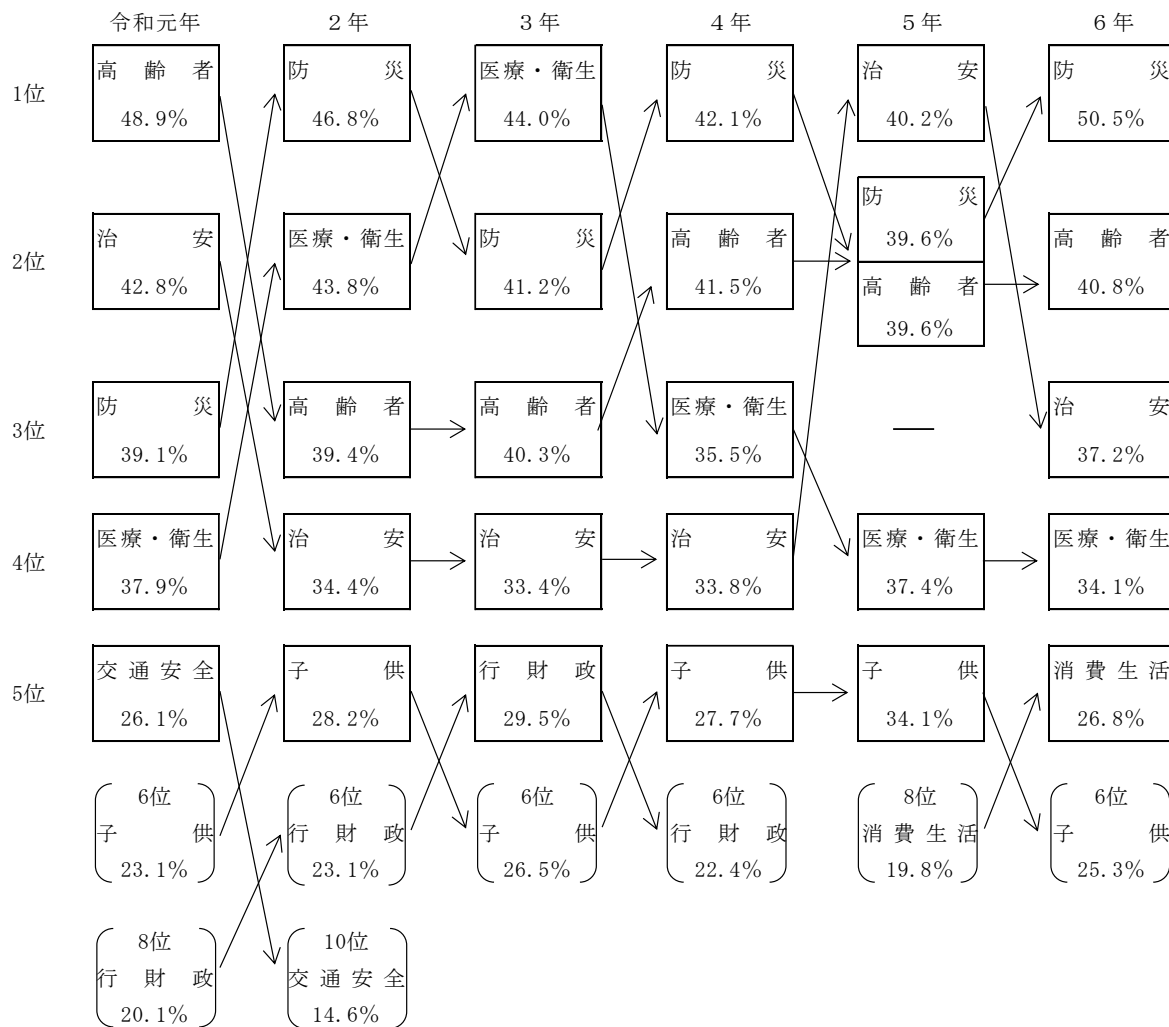
(本文 P82～P85)

- ・「防災対策」が51%でトップ
- ・「高齢者対策」41%、「治安対策」37%、「医療・衛生対策」34%、「消費生活対策」27%が続く



[上位5位の推移]

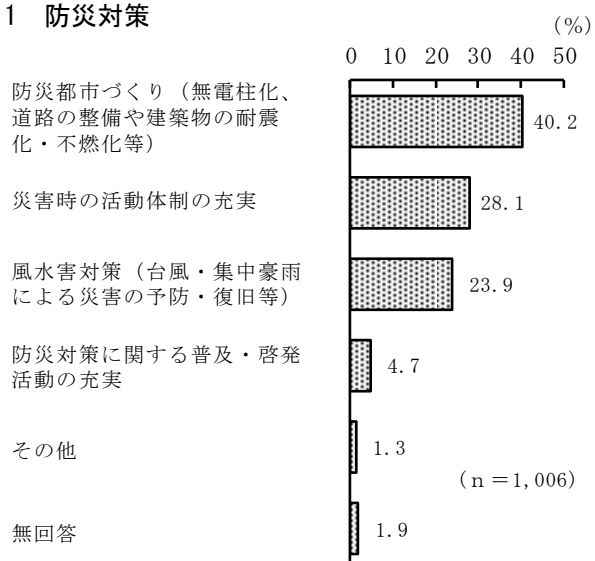
- ・「防災対策」は昨年より11ポイント増加し、第2位から第1位
- ・「治安対策」は昨年の第1位から第3位
- ・「消費生活」は昨年の圏外から第5位



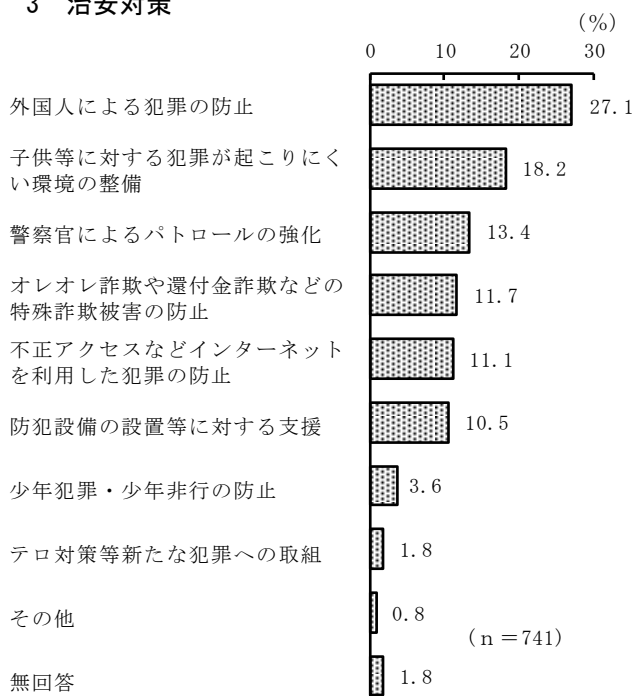
(注) 「子供」：「少子化・虐待防止などの子供対策」

(3) 具体的な要望施策：力を入れてほしい分野について、具体的な内容を示して聞いた。(上位5位)
(本文P86～P91)

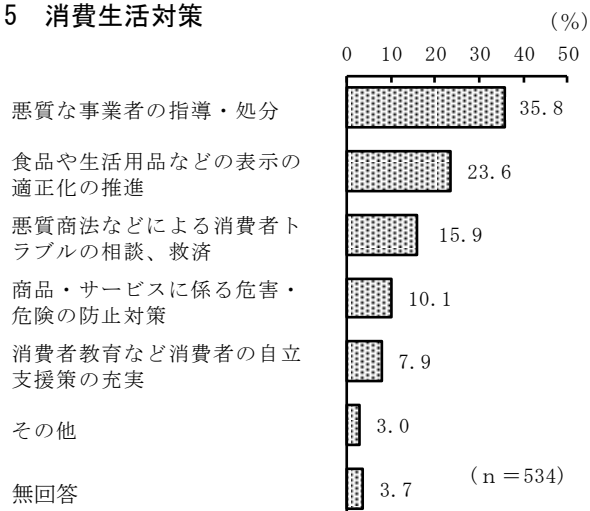
1 防災対策



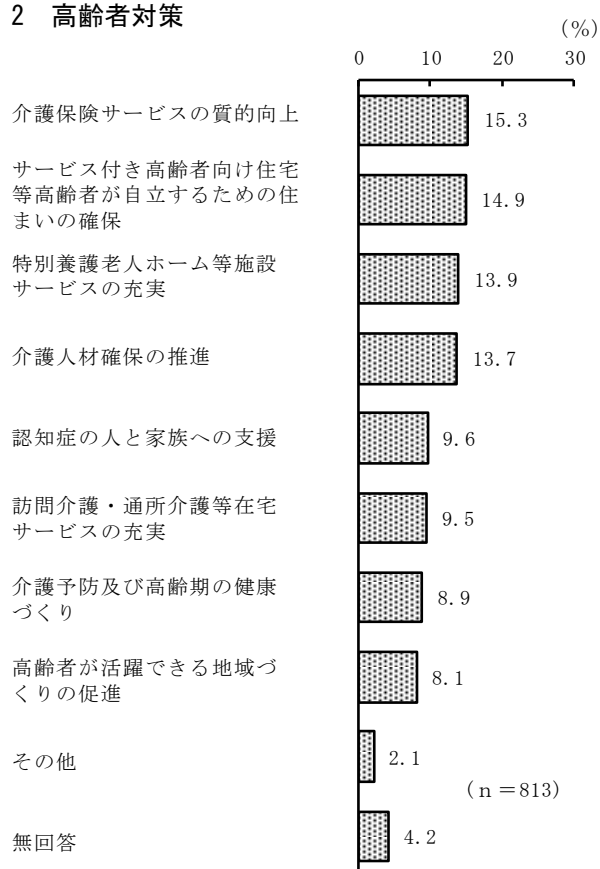
3 治安対策



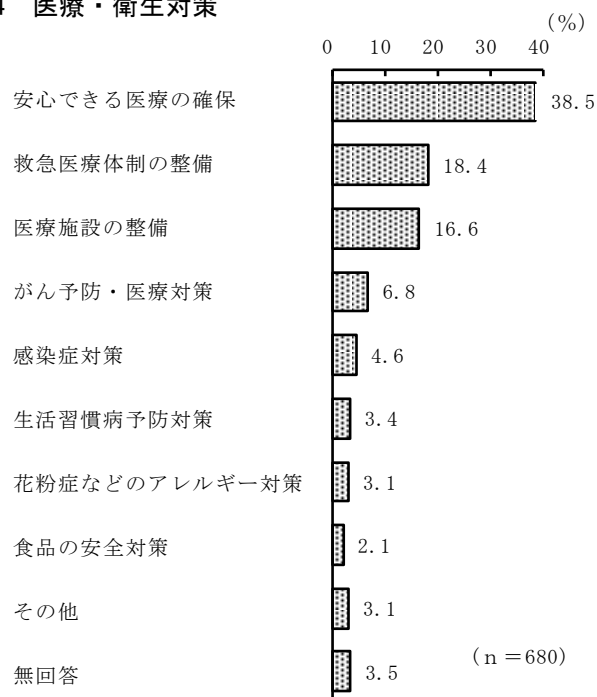
5 消費生活対策



2 高齢者対策



4 医療・衛生対策

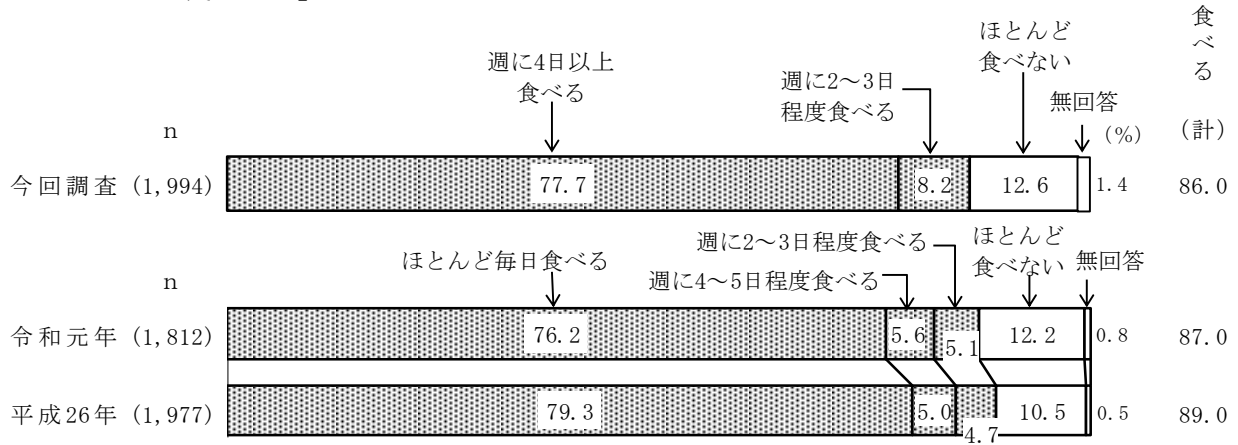


5 食生活と食育

(1) 朝食の摂取状況：ふだん朝食を食べているかを聞いた。

(本文P92～P94)

- ・『食べる（計）』は86%
- ・「ほとんど食べない」は13%



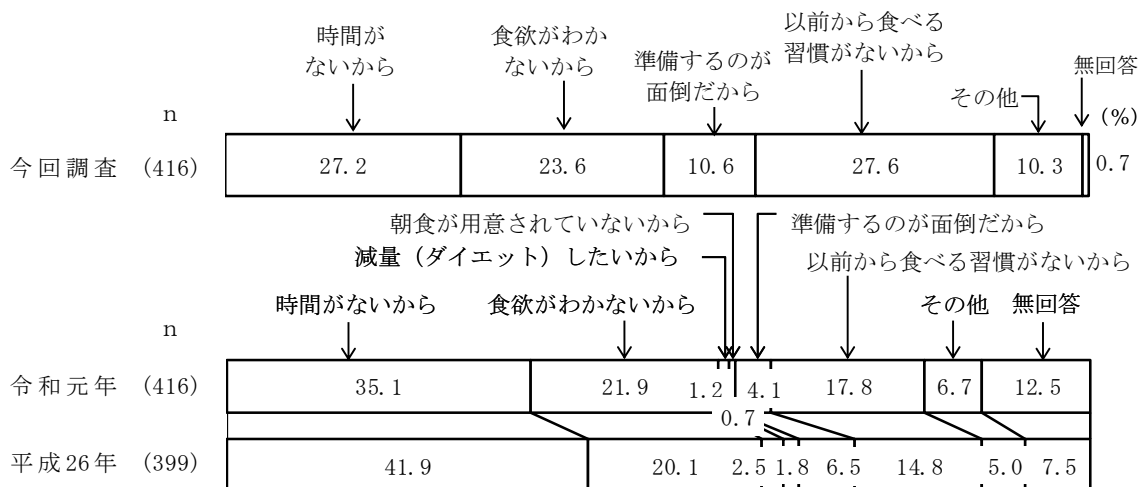
(注1) 令和元年は「食生活と食育に関する世論調査（令和元年9月調査）」、平成26年は「食生活と食育に関する世論調査（平成26年7月調査）」（以下同様）

(注2) 『食べる（計）』は、今回調査については「週に4日以上食べる」、「週に2～3日程度食べる」の合計、令和元年と平成26年については「ほとんど毎日食べる」、「週に4～5日程度食べる」、「週に2～3日程度食べる」の合計

(2) 朝食を食べない理由：ふだん朝食を「週に4日以上食べる」と答えた人以外（「週に2～3日程度食べる」「ほとんど食べない」と答えた人、416人）に、朝食を食べない理由を聞いた。

(本文P95～P97)

- ・「以前から食べる習慣がないから」が28%でトップ
- ・「時間がないから」27%、「食欲がわかないから」24%が続く

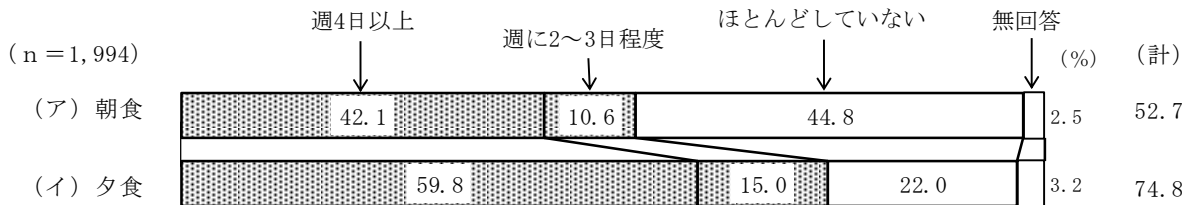


(3) 家族との食事の頻度：1週間のうち、どれくらい家族と一緒に食事をしているか聞いた。

(本文P98～P103)

- ・『家族と食事をしている（計）』は、“朝食”で53%、“夕食”で75%
- ・「ほとんどしていない」は“朝食”で45%、“夕食”で22%

し家
て族
いと
る食
事
を

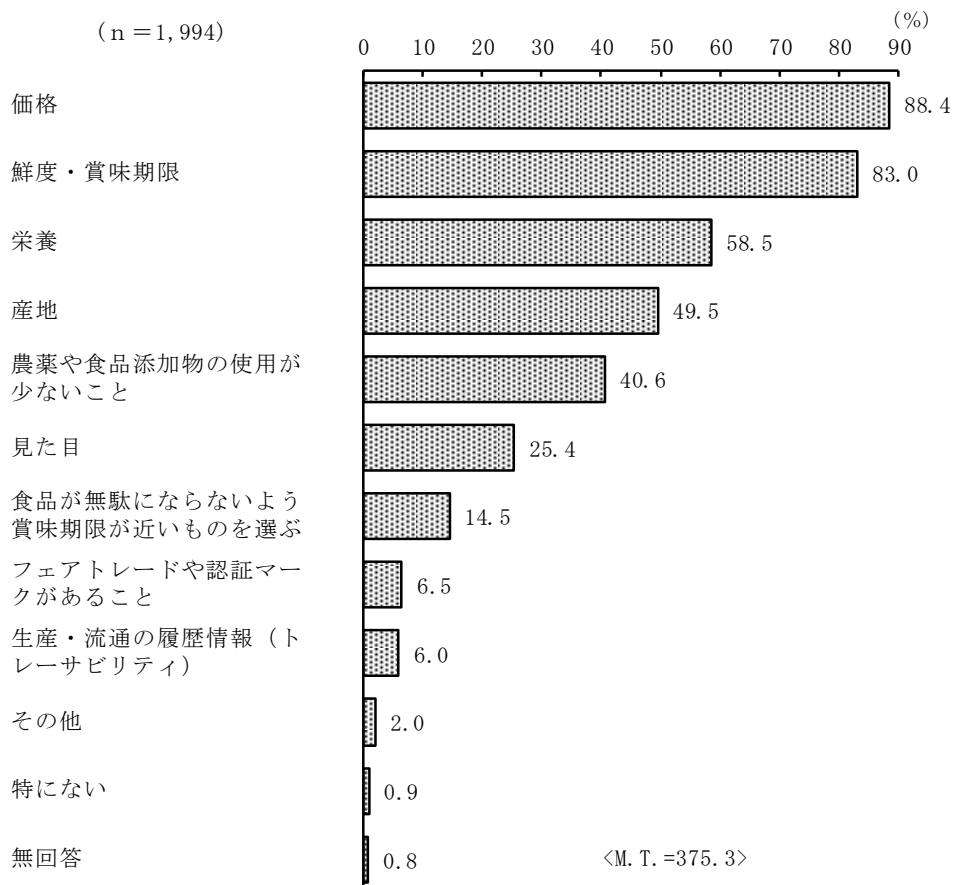


(注)『家族と食事をしている（計）』は「週に4日以上」、「週に2~3日程度」の合計

(4) 食品を選ぶときに重視すること：食品（生鮮食品、加工食品を含む）を選ぶときに重視することを聞いた。(5M. A.)

(本文P104～P107)

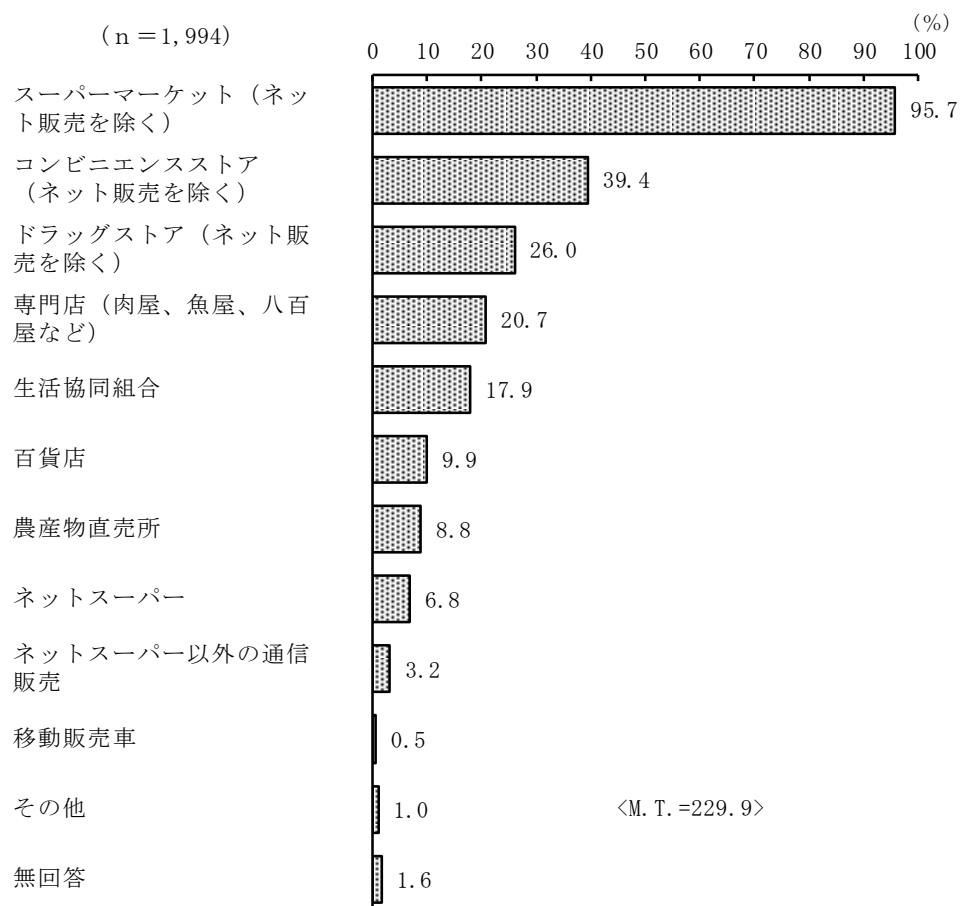
- ・「価格」が88%でトップ
- ・「鮮度・賞味期限」83%、「栄養」59%、「産地」50%、「農薬や食品添加物の使用が少ないこと」41%が続く



(5) 食品を購入している場所：食品を購入している場所について聞いた。(3M. A.)

(本文P108～P110)

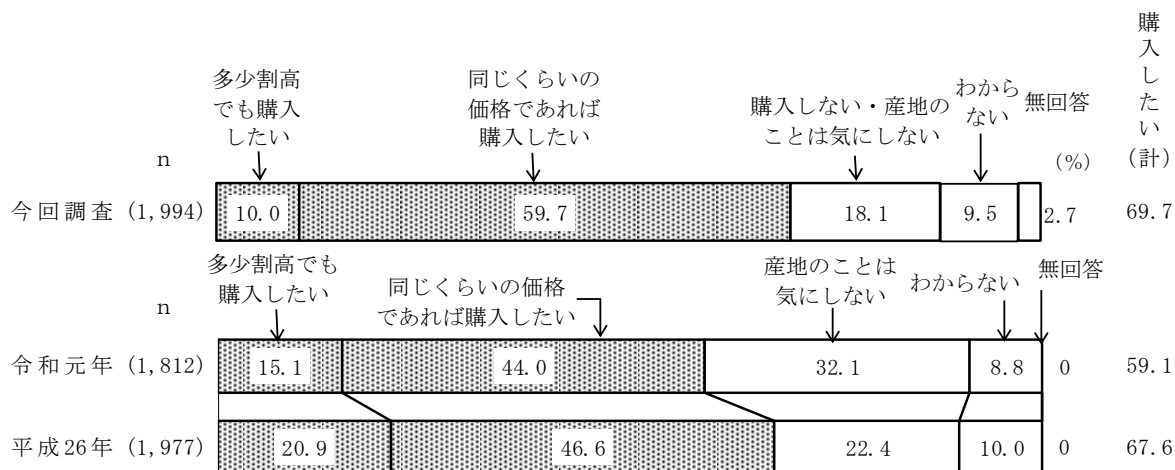
- ・「スーパーマーケット（ネット販売を除く）」が96%でトップ
- ・「コンビニエンスストア（ネット販売を除く）」39%、「ドラッグストア（ネット販売を除く）」26%、「専門店（肉屋、魚屋、八百屋など）」21%が続く



(6) 地元や東京の産物の購入意向：地元や東京の産物の購入意向について聞いた。

(本文P111～P113)

- ・『購入したい (計)』は70%
- ・「購入しない・産地のことは気にしない」は18%



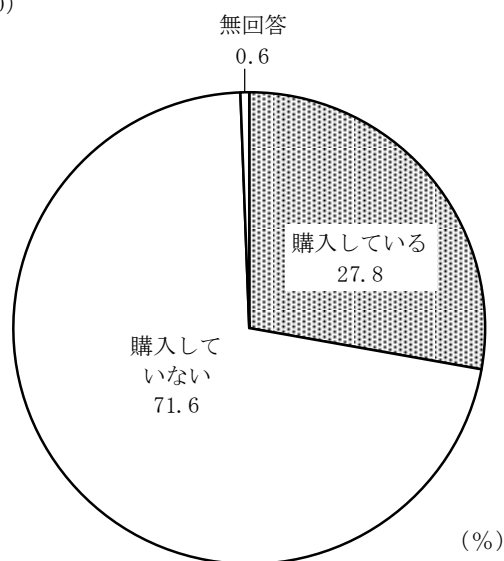
(注)『購入したい (計)』は「多少割高でも購入したい」、「同じくらいの価格であれば購入したい」の合計

(7) 東京産の食材の優先的な購入有無：地元や東京の産物を『購入したい (計)』と答えた人 (1,390人) に、実際に東京産の食材を優先的に購入しているか聞いた。

(本文P114～P116)

- ・「購入している」は28%
- ・「購入していない」は72%

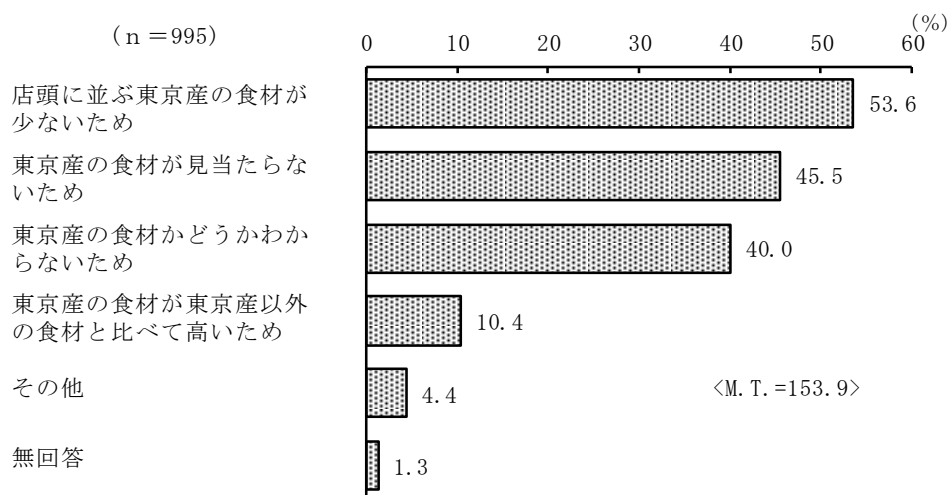
(n = 1,390)



(8) 東京産の食材を購入していない理由：東京産の食材を「購入していない」と答えた人（995人）に、購入していない理由を聞いた。（M. A.）

（本文P117～P118）

- ・「店頭に並ぶ東京産の食材が少ないため」が54%でトップ
- ・「東京産の食材が見当たらないため」46%、「東京産の食材がどうかかわからないため」40%が続く

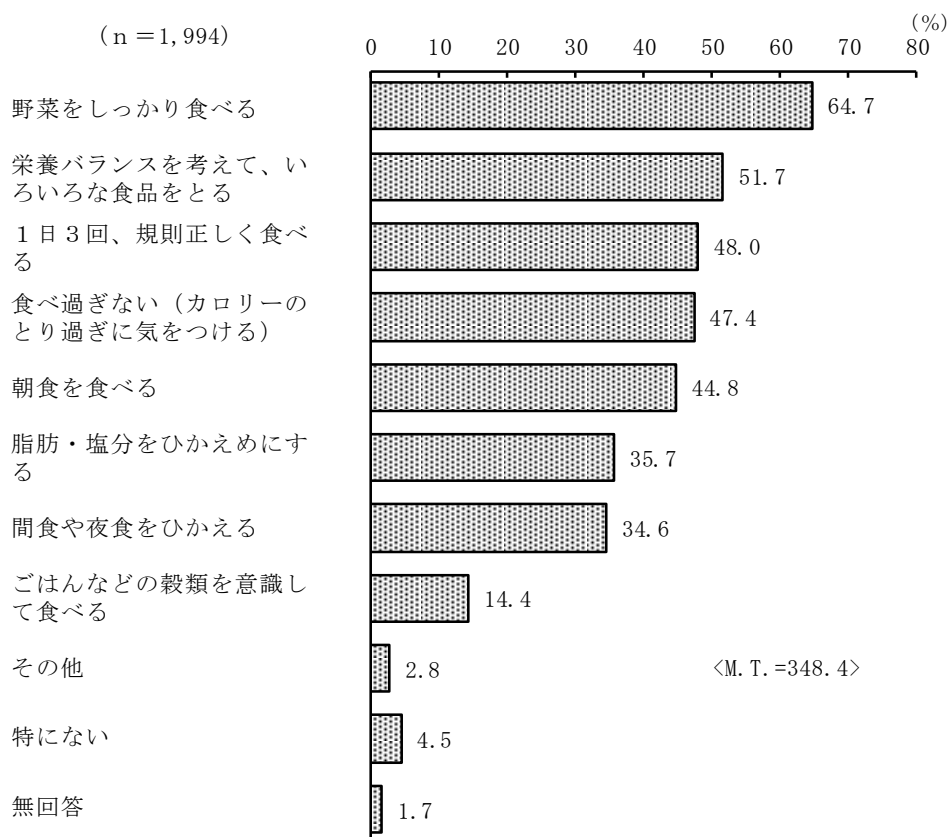


(9) 食事のとり方で気をつけていること：食事のとり方で気をつけていることについて聞いた。

(M. A.)

(本文P119～P122)

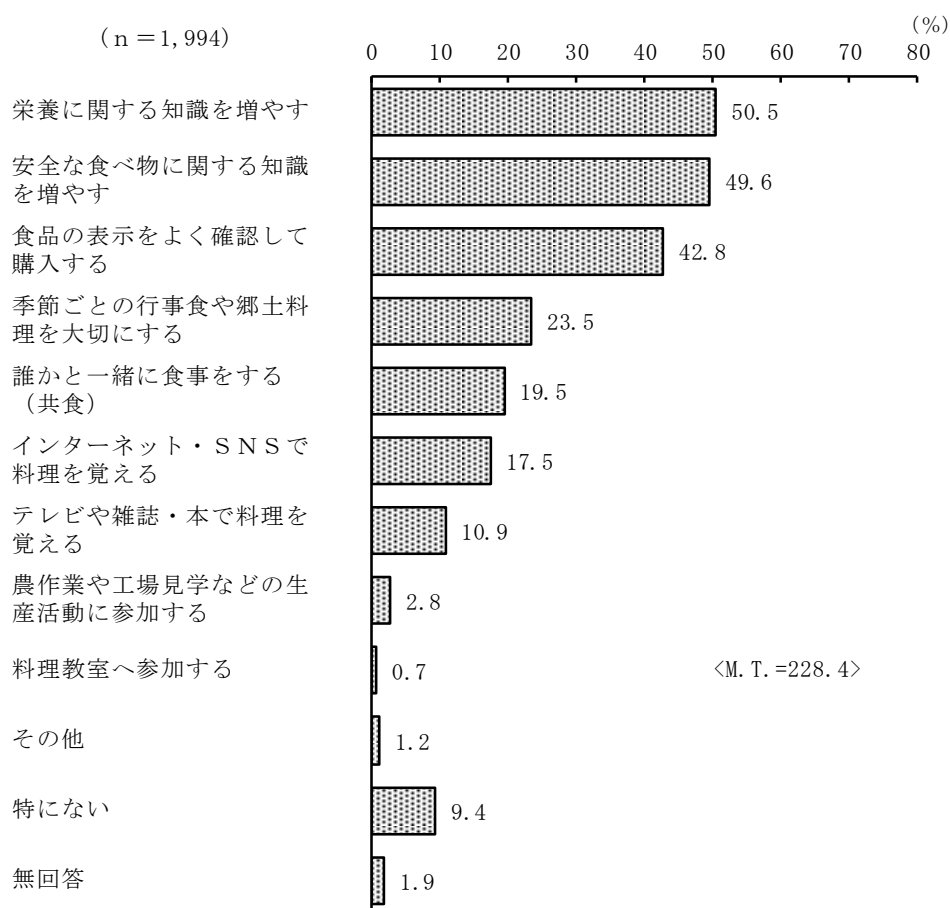
- ・「野菜をしっかり食べる」が65%でトップ
- ・「栄養バランスを考えて、いろいろな食品をとる」52%、「1日3回、規則正しく食べる」48%、「食べ過ぎない（カロリーのとりに過ぎに気をつける）」47%が続く



(10) 健全で豊かな食生活のための取組意向：食生活を健全で豊かなものにするために、今後どのようなことをしていきたいか聞いた。(3M. A.)

(本文P123～P126)

- ・「栄養に関する知識を増やす」が51%でトップ
- ・「安全な食べ物に関する知識を増やす」50%、「食品の表示をよく確認して購入する」43%、「季節ごとの行事食や郷土料理を大切にする」24%が続く



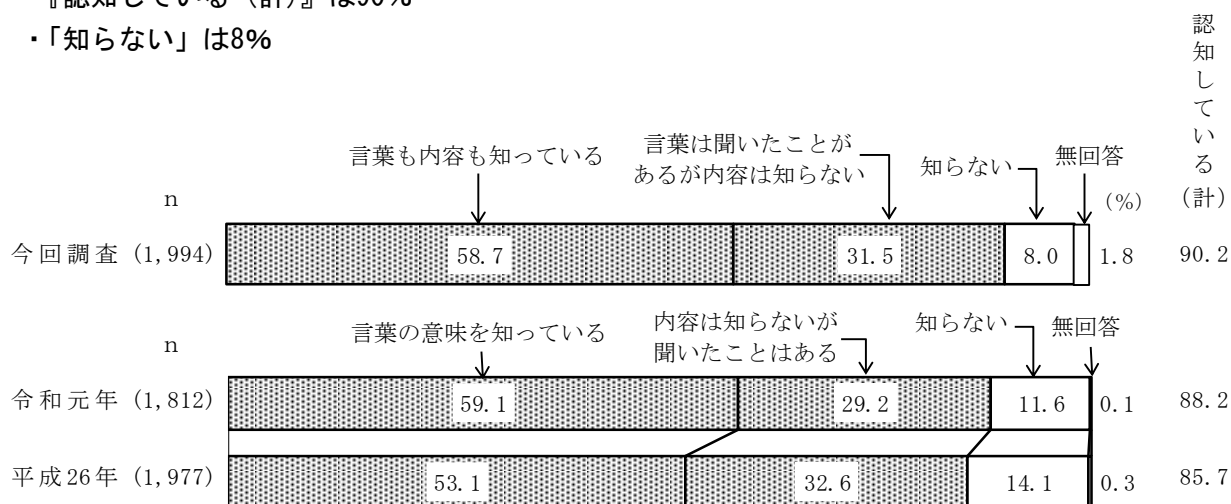
(11) 「食育」の認知度：「食育」*という言葉を知っているか聞いた。

(本文 P127～P130)

*「食育」とは、心身の健康の基本となる、食生活に関するさまざまな教育を行うこと。

栄養のバランス、調理法、食べ物の安全性に関する知識などを身につけることや、豊かな食生活を楽しむ力を育むことなどを指す。

- ・『認知している（計）』は90%
- ・「知らない」は8%

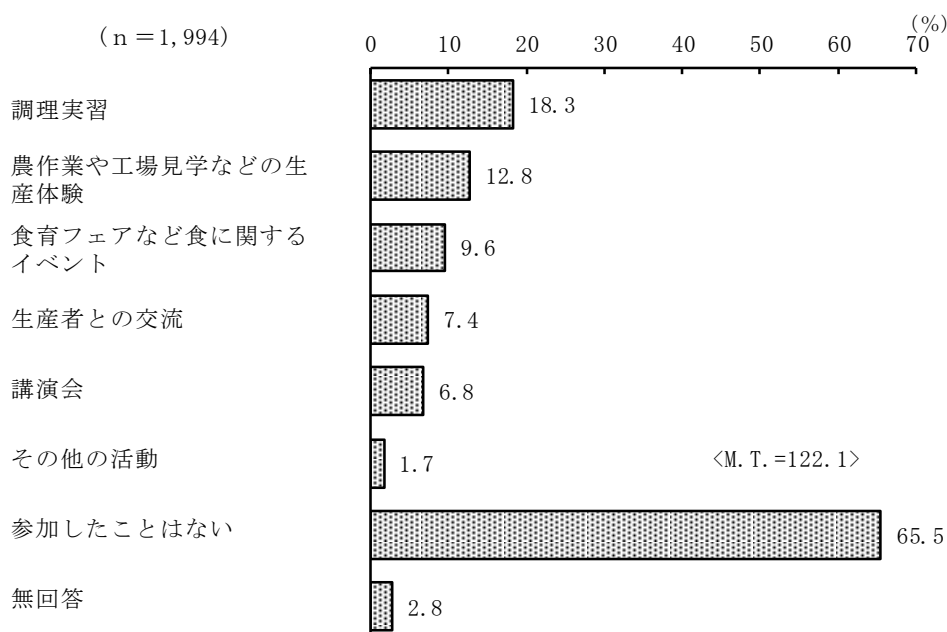


(注) 『認知している（計）』は、今回調査については「言葉も内容も知っている」、「言葉は聞いたことがあるが内容は知らない」の合計、令和元年と平成26年については「言葉の意味を知っている」、「内容は知らないが聞いたことはある」の合計

(12) 食育活動への参加経験：食育活動に参加したことがあるか聞いた。(M. A.)

(本文 P131～P134)

- ・「参加したことはない」が66%
- ・「調理実習」18%、「農作業や工場見学などの生産体験」13%、「食育フェアなど食に関するイベント」10%が続く

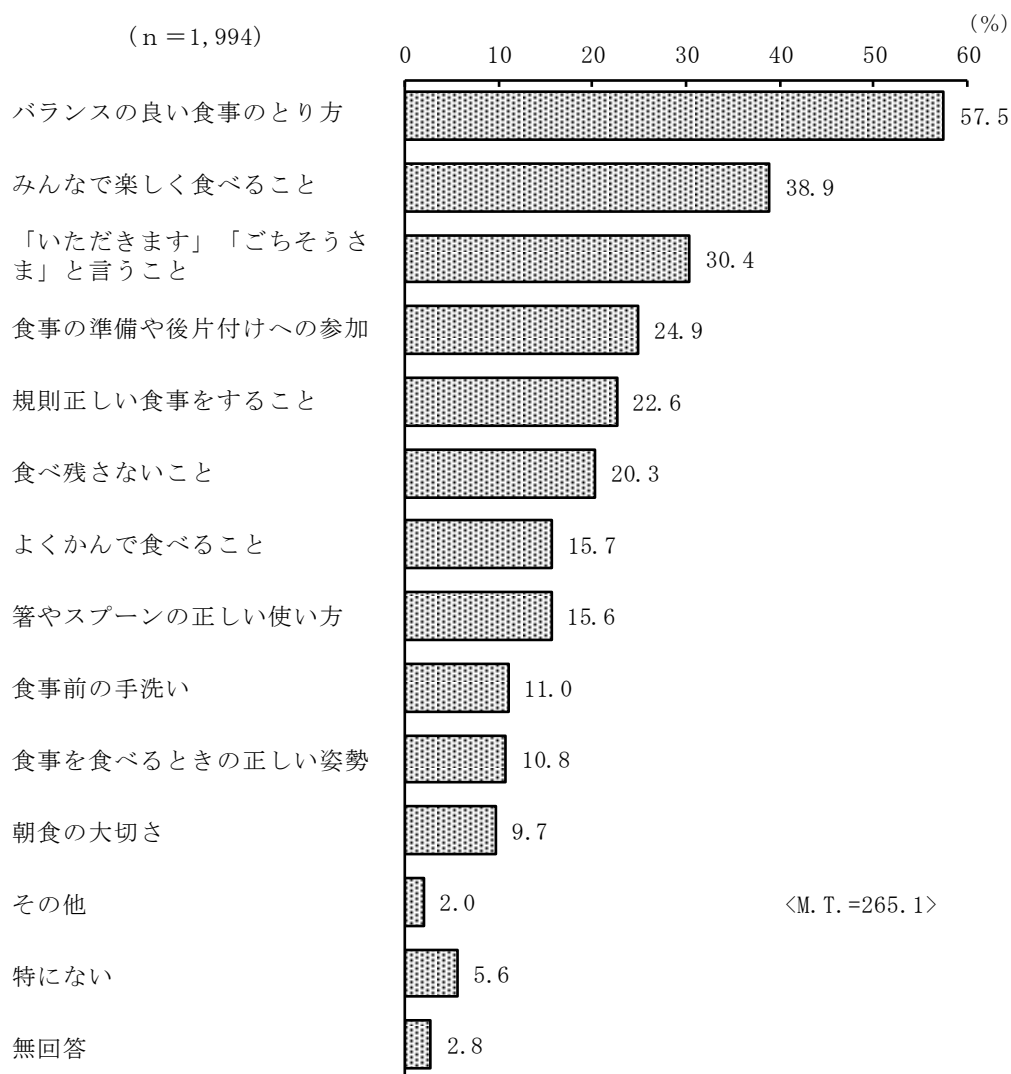


6 学校、地域での食育

(1) 保育園・幼稚園・小学校及び地域に望む取組：保育園・幼稚園・小学校及び地域で行う食育に望む取組について聞いた。(3M. A.)

(本文P135～P138)

- ・「バランスの良い食事のとり方」が58%でトップ
- ・「みんなで楽しく食べること」39%、「『いただきます』『ごちそうさま』と言うこと」30%、「食事の準備や後片付けへの参加」25%、「規則正しい食事をする事」23%が続く



7 行政への要望

(1) 都や区市町村が重点的に推進すべき取組：食育を推進するために、都や区市町村にどのようなことに重点的に取り組んでほしいか聞いた。(3M. A.)

(本文P139～P142)

- ・「学校での食育活動」が45%でトップ
- ・「食中毒予防や食品添加物、農薬など、食の安全に関する情報提供の充実」37%、「保育園・幼稚園などでの食育活動」28%、「『早寝・早起き・朝ごはん』の奨励など、子供の生活習慣のための取組」24%が続く

